





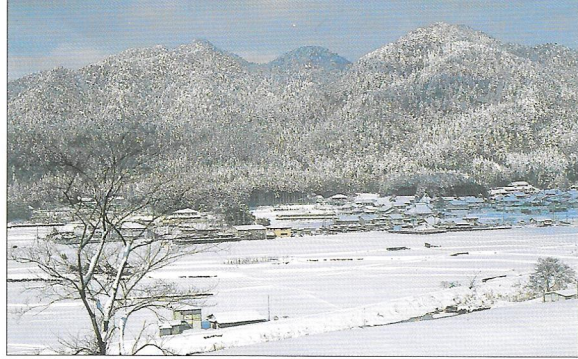
江文峠への縦走路から瓢箪崩山北面を見る

〈表〉G-8

瓢箪崩山

岩倉花園町バス停 2時間10分→ 瓢箪崩山 1時間25分→ 江文峠 35分→
←1時間30分 ←1時間45分 ←40分
初級 戸寺バス停

岩倉より瓢箪崩山、江文峠を経て大原に下るコースを紹介する。岩倉花園町バス停より北へ住宅街を抜け、林道を暫く行くと右手にトトギ池という貯水池がある。登山道は、そのはす向かいから始まる。笹の斜面をジグザグに登り尾根に出ると、道は緩やかになる。植林地と雑木林が交互に現れる。登山道の東を流れる高野川との間に一本、平行して走る尾根があり、その尾根上にも踏み跡がある。その分岐点を過ぎると、すぐにお地蔵様が現れる。道は二つに分かれ、上へ行くと瓢箪崩山山頂、左は山腹を巻いて寒谷峠へ直接抜ける道だ。山頂は樹木に囲まれ展望がきかない。山頂から寒谷峠に下る途中には、小さな岩場があり急な所がある。峠は明るく岩倉から大原井出町に抜ける道が交差している。尾根の右斜面に付けられた道を進むとやがて、井出町に下る枝道や岩倉長谷町に下る別の枝道が出てくる。2万5千分の1地形図の471m付近には大岩が2つあり、岩の上から展望がよい。金毘羅山を木々の間から見ながら江文峠へ下る。峠は車道で寸断されて古道の面影は全くなくなってしまった。峠から東へ30mほど行くと旧道の入口がある。薄暗い杉林の中を下っていくと江文神社の下に出る。東海自然歩道の標識に従い、井出町を抜けて戸寺バス停を目指す。(文 梶山正)



大原より見た金毘羅山(左)と翠黛山(右)

〈表〉G-7

金毘羅山

戸寺バス停 1時間30分→ 金毘羅山 40分→ 翠黛山 1時間40分→ 焼杉山
←1時間10分 ←40分 ←1時間20分
初級 1時間20分→ 大原バス停
←1時間40分

大原盆地の西を囲む金毘羅山、翠黛山、焼杉山の大原三山を縦走するコースを紹介する。戸寺バス停より東海自然歩道の標識に従い、高野川に架る橋を渡って江文神社を目指す。大きな杉のある参道を登り、神社境内の左横から登山道に入る。右側の林道はロックゲレンデに通じる道だ。暗い杉林をジグザグに登り尾根に出たら北進する。しばらくすると琴平神社が現れる。神社右横から石段を登って稜線に出、左へ行く。山頂には金毘羅権現社、その手前には琴平神社奥宮、そして縦走路から外れるが南西の尾根を10分程行った所に三角点があり、ここにも祠がある。琴平神社奥宮からは、比叡山や京都方面の展望が良い。縦走路分岐まで戻り、雑木林の急斜面を下る。コブを一つ越すと、樹木に被われた静かな翠黛山だ。寂光院へ直接下る道へは行かず、寂光院と天ヶ岳を繋ぐ寂光院道の峠へ下る。峠より杉林の尾根をそのまま北進して焼杉山を目指す。山頂からは北のナツチョや天ヶ岳方面の展望が開けている。岩が出ている急斜面を下ると、古知谷方面へ縦走する道と草生町へ延びる南尾根の道の分岐がある。右の草生町への道を下る。尾根は東から南にカーブし、大原中学校西側の車道に出る。ここから大原バス停までは5分、歩道を東へ行く。(文 梶山正)

